

第8回常任理事会議事録

日 時 平成 21 年 1 月 20 日 (火) 19 時～20 時 30 分
会 場 宮崎市郡医師会臨床検査センター 食堂
参 加 日野浦 津曲 岩田 日高 田邊 佐藤 花牟禮 内山 松尾 伊豆 清山
議事録担当： 伊豆

- ・第7回常任理事会議事録確認
- ・報告事項

1、会長挨拶

- ・1月23日(金)開催の代議員会と技師連盟の会議に出席する。
公益法人の話題が中心になるかと思われるが、宮崎県も他県の動向を見ながら、準備作業は進めていきたい。
- ・日臨技、九臨技関連の連絡事項等は特になし。

2、事務局

①事務

・事務連絡

- ・平成 20 年度第 2 回定期総会、平成 21 年度第 1 回定期総会の出席・委任状が日臨技から来ている。早速、会員に配布し、2 月中に委任状を事務局が回収し、日野浦会長に預けることとする。
- ・日臨技の損害保険の更新手続きが完了した。
- ・日臨技からカットバン 5 箱が送られてきた。定期総会、健康福祉まつり等の行事で配布する。
- ・東京都多摩がん検診センターより細胞検査士養成所募集案内があり、1 月の会報に掲載した。
- ・第 57 回日本医学検査学会の DVD が事務局に来ている。
- ・健康福祉まつりの助成金について、日臨技に申請したが結果の通知がなく、問い合わせする。
- ・1 月 30 日開催の平成 20 年度第 2 回プロモーション地区委員会に出席する。
- ・公益法人に関する研修会案内は、公認会計士優先かつ定員で締切のため見送りにした。
- ・事務所取得に係る税処理と公益法人概況調査処理回答を司法書士を通じて県に提出し、不動産取得税の支払いが完了した。平成 20 年度会計報告として、人件費・アルバイト代を司法書士で計算し、県に提出する。
- ・日本臨床化学会 夏期セミナーと九臨技卒後セミナーが共催で 9 月 20 日・21 日に開催される。

②庶務

- ・11、12 月開催の生涯教育は 6 件。12 月 20 日開催の微生物研究班勉強会が参加者未登録。
- ・平成 20 年度の会費未入金者は 1 月 20 日現在 25 名。未納者に対し、督促状発行が了承された。平成 21 年度分の会費納入分で、社会保険病院と県立宮崎病院は入金者名簿が未提出。
- ・AED 講習会の報告書が担当者より提出され、会誌に掲載する。

③会計

- ・11 月以降の賛助会員収入は、シスメックス (広告を含む)、三光純薬の 2 件であった。
- ・賛助会員の入金について、前年度分か今年度分の入金かを識別する目的で、口座の変更をしたい。
- ・技師連盟へ理事 17 名分、入金を済ませた。
- ・事務所変更に伴い、ゴム印を更新したい。

3、組織

・事務所の駐車場について

マンション近くの店舗の駐車場利用は許可されなかった。

・表彰について

「小島三郎記念技術賞」「福見秀雄賞」の推薦依頼が来ており、日野浦会長を推薦したい。

候補者の所属長の推薦が必要で、既に推薦済みである。

叙勲の推薦依頼が来ており、今回は準備が間に合わず該当者無しとするが、今後、村角さん、

日野浦会長を推薦したい。

永年職務奨励者表彰推薦の該当者が今回は 4 名で、平成 21 年度会費の納入を確認する。

・祝賀会について

53 名の参加、記念品代のみ 74 名、受賞者からのお祝い金を戴き、最終収支は 9 万円弱の残金となった。受賞者の謝辞とプロフィールを会誌に掲載報告する。

・公益法人制度説明会について

内閣府、九州財務局の担当者から説明があり、理解が難しく、金銭面は公認会計士等の専門家ではないと処理が困難である。申請処理は電子申請が簡単である。資料を回覧する。

- ・会員の調査事業について
県北職域を調査中で、今後報告する。

4、学術

1) 会誌第 89 号編集進捗状況について

- ・学会の一般演題、受賞者の謝辞 2 名分の原稿が揃っている。職場紹介原稿は明日届く予定。
- ・残りの原稿と賛助会員で広告原稿がまだ届いていない分を揃え、2 月中には発行できるようにしたい。カラー写真はページをまとめると経費節約になる。
- ・来週、編集会議を開く予定。印刷下原稿を回覧する。

2) 第 47 回宮崎県医学検査学会について

93 名の参加者があり、10 題の一般演題、教育講演で質疑応答も多く、盛会に終了した。

3) 2 月 21 日市民プラザで開催される宮大の検査部・医学部内科学免疫感染病態学主催セミナーの共催・後援依頼があり、共催が了承された。

4) 輸血研究班より、検査機器の精度管理目的に物品購入の申請があったが、今回は見送ることとし、他県技師会の状況を調査確認の上、詳細を報告してもらって再審議することとした。

5) 一般検査研修会について

- ・3 月の定期総会で平成 21 年度活動計画の承認を経て、事業として決定される。
- ・平成 21 年 9 月 20 日・21 日開催予定。
- ・担当県として、鏡検実習用尿試料の準備する。各医療機関に試料提供の協力をお願いしたい。
- ・講義と鏡検実習の会場は宮崎大学医学部を使用する。教室の顕微鏡の使用許可も得ている。
- ・連休中の開催のため、懇親会会場、実行委員の宿泊施設を仮押さえしている。
- ・準備作業は実行委員会で進め、理事会に進捗状況を報告する。
- ・全国委員は、事前にリハーサルを 1~2 回行いたい。
- ・リハーサルに伴う旅費等の支出は、宮臨技としては認めない。主催の日臨技が負担すべき。
- ・リハーサルを兼ねる県内の勉強会に、1 名程度の実務委員を招聘する形での企画書を審議する。
- ・研修会前後の日にメーカー主催の講習会が企画されている。共催するかは、プロモーションコードに抵触しないかを調査の上とする。

審議事項

1) 平成 21 年度賛助会員入会と広告掲載について

- ・平成 20 年度分と平成 21 年度分の入金を区別するために、振込先口座を別にしたい。
- ・入金日では何れの年度分の入金か不明なことがある。
- ・現在、労働金庫と宮銀にそれぞれ口座があるので、新規の口座開設の必要はない。
- ・現在の指定口座（労金）を宮銀の口座に変更することが承認された。
- ・平成 21 年度賛助会員入会と広告掲載の依頼文書について
従来、文書の発送時期が遅く、締切を 12 月にしているため、企業によっては予算執行後で入金して貰えないことがある。
締切を 6 月末日とし、3 月 1 日付で文書発送することが承認された。

2) 平成 20 年度第 3 回九臨技会議出席について

- ・日野浦会長、岩田副会長、伊豆理事（勤務の都合による）の 3 名出席で返答する。

次回 平成 21 年 2 月 17 日(火) 開催予定